



大賞

エイキKK ツバキの会 (木場町)

講評 ボリュームのあるイボメア・テラスライムの明るい黄緑色が印象的でした。他の花との組み合わせも素晴らしく目を引きまします。花壇があることで、田園風景の中に花で彩られた島がぼっかり浮かんでいるように見えます。景観への演出効果としても抜群で一連の取り組みはとても高く評価されました。土づくりでコンポストをうまく利用されたことも、見本となる活動事例といえます。



団体の部 (一般)

下粟津町花の会



講評 今年も色鮮やかな花で会館の入口が飾られていました。プランターの高さを変えて花がたくさん咲いて見えるように工夫されています。当番を決めて週に1回の花殻摘みが、きれいな花の開花を実現させています。会員の方々の協力の賜物といえます。

銅賞 小松市農業協同組合



講評 課ごとに分担を決めた花壇づくりはユニークな活動です。互いのライバル心は高まるものではないでしょうか。競い合う気持ちがいい方向に展開しているのが、花壇がきれいに整っています。雑草が生えていないのも手入れが行き届いている証拠です。

銅賞 道の駅こまつ木場湯



講評 建物前には、道の駅の利用者には一服の涼を感じてもらえることでしょう。プランターの花がきちんと管理されており、利用者への歓迎性と施設の清潔感が表れています。道の駅のイメージアップには花は欠かせない存在になりました。

銅賞 西軽海町一丁目町内会



講評 一鉢一鉢の花に安定感とパワーが感じられます。安定感があるということは、花の性質を熟知しているということ、パワーは花の管理と配置のデザイン、町内会の皆さんの花壇に寄せる思いの総力です。新たな花の配置が毎年楽しみです。

イルミネーション賞 沖町町内会



講評 毎回新しいテーマに挑戦し、今回は五輪を表現しました。昼は多種の花を楽しむことができ、夜はほのぼのとした光のイルミネーションで、涼しさを感じることができます。町のおもてなしの心が伝わる花壇です。

銀賞 花みずき会(白嶺町)



講評 小松市は東京オリンピック・パラリンピックの合宿地にもなっていて、街路樹の下の植栽の花壇づくりは、ホスピタリティーが十分に表れています。各国の花の特徴も考えられているので、市民の方からも好評でしょう。いやしの散歩道というネーミングもぴったりです。

銀賞 糸町町内会



講評 この花壇を見ると本当に元気が出ます。今年も強い日差しに照らされながらも、花が咲きそろい昨年にも増して見事でした。場所の特性と植える草花の特性が分かっているからこそ花が咲き揃います。花との会話がきちんとできている証拠です。

奨励賞 JA今江女性部



奨励賞 金平町いきいきクラブ



奨励賞 鶴川町町内会



奨励賞 金平町老人会花びらの会



団体の部 (児童・生徒)

金賞

安宅小学校



講評 玄関前や校内の各所に置かれたプランターは、花が盛り盛りと咲き、校舎の色合いともよく調和しています。高さを変えて整然と並べられていて、空間の使い方もスタイリッシュな感じを受けます。花を見て笑顔で登校する児童の顔が想像できます。

奨励賞 蓮代寺小学校



奨励賞 芦城小学校



奨励賞 小松市立高等学校



奨励賞 芦城中学校



奨励賞 向本折小学校



奨励賞 西部児童センター



銀賞 第一小学校



講評 花の色合いをよく考えてプランターが並べられています。当番を決めて水遣りや花殻を摘んでいるので、真夏でも良く花が咲いています。活動のスローガン「花一つひとつを大切に…」の言葉どおりに、大切に管理されていることが伝わってきます。

銀賞 中海小学校



講評 二宮金次郎像の周りに置かれた花がとても印象的です。この像は玄関にあり小学校のシンボルでもあるので、いつも児童や先生方、PTAの方々などが目にします。花は歓迎の気持ちを表していることなので、これからも続けてください。

銅賞 犬丸小学校



講評 緑の少年団にもなっている5年生の25人が全員で取り組んでいて、手入れもよく行き届き、花が生き生きとしています。花を咲かせた経験が、人や生き物に対して優しい気持ちを育ててくれることでしょう。

団体の部 (幼児)

銀賞

あたか認定こども園



講評 フェンス越しに花壇が見られるようになっていて、園児だけではなくご近所の方々にも好評なようです。花は生ごみ肥料を使っていることもあって良く育ち、間から顔を覗かせている白雪姫と七人の小人たちの人形はかくれんぼうをしているかのようです。

銅賞

白嶺幼稚園



講評 園舎の前に並べられた花は、園児が主体となってお世話しているもので、花は園児の愛情とともに育っているのが分かります。お迎えに来られる親御さんの中には、花に関心を持たれる方もいて、花の輪が世代を超えて着実に広がっています。

入選

- 団体の部 (一般) / 扇町町内会、今江町町内会、フローラル沖町、菊葉会(高堂町)、若杉町婦人会、鶴川福寿会、金野町婦人会
- 団体の部 (児童・生徒) / 符津小学校
- 個人の部 / 前田 真知子 様(上本折町)、國本 久美子 様(河田町)

努力賞

- 団体の部 (一般) / 親和会(四丁町)、イケガミフラワー会(今江町)
- 団体の部 (児童・生徒) / 那谷小学校
- 団体の部 (幼児) / 月津こども園、粟津温泉こども園
- 個人の部 / 中口 稔 様(島町)、坂野 敏子 様(島町)、田中 恵子 様(三谷町)

個人の部

銀賞 元 弘栄様 (木場町)



講評 敷地の内外に所せましと鉢やコンテナが置かれ、季節ごとに花を入れ替えることで四季が花が演出されています。花の高さを変えて置き、花殻摘みをこまめにされているので、次から次へと咲き続けるように努めていらっしゃいます。

銀賞 伊藤 瑤子様 (矢沢町)



講評 庭は鉢を置く場所、芝生、デッキ、地植えにしている花壇の4つのゾーンに分け、空間をセンス良く使われています。芝生とデッキ、シダレザクラなどが花鉢の背景になり、庭全体に奥行きがあるような演出がされ、線に浮かび上がる花が見事です。

奨励賞 加納 博子様 (八幡)



奨励賞 高橋 清美様 (南陽町)



奨励賞 中川 裕美様 (福乃宮町)



奨励賞 谷口 英雄様 (大領町)



銅賞 梶本 好美様 (上本折町)



講評 狭いところでもこれだけ花のボリュームが出るのは、花栽培に長けていないとできません。花が咲き続けるような種類を選び、こまめな花殻摘み、水遣り、施肥、花の入れ替えなど、花への愛情と地域の方に見ていただけるようなホスピタリティーが感じられます。

銅賞 石原 丈太郎様 (村松町)



講評 ご自身で多年草を少しずつ増やして、今では花いっぱい庭先になっています。門の前に置かれた花を楽しみにされているご近所の方がいるほどです。花が長続きするように、土づくりや置き方を工夫するなど、栽培技術も優れています。

花水樹賞

- ・ボランティアを基本とした花や緑の育成活動により地域社会に優れた実績を残した個人及び団体
- ・積極的なボランティア活動を年間30日以上かつ2年以上継続し、他の模範となるもの

金子 弘司様 (鶴川町)

講評 荒地だった広大な休耕田に、友人や地元の人たちと花を植え始めたことがきっかけで活動を開始しました。遊泉寺銅山跡を訪れる人の憩いの場を作りたいという思いで植え始めた「シヤガ」は、今では5万株以上の群生地となり「神秘的で幻想的な光景を見ることができる」と、たくさんの方が訪れる場所になっています。10年以上にわたる地道な活動が高く評価されました。



田谷特別賞

- ・部門を問わず作品が優秀であり、大勢の人の和を創出する役割を持つものや、メンバーが連携して困難を克服し活動を継続しているもの

木場潟再生プロジェクト

講評 ボランティア団体として2004年10月から活動を開始し、木場潟のヒシ・アサザ・ガガブタなど貴重な水生植物等在来種の保護育成に努めています。この取り組みにより、木場潟公園船小屋近くでハスが100年ぶりに復活するなど、話題になりました。水質浄化、環境保全に取り組む活動などが認められ、今年SDGs達成未来都市に小松市が選定されました。



審査員長講評

審査員長 和田 博幸氏 公益財団法人 日本花の会 主幹研究員 樹木医

「梅雨が明けました。」と発表があった翌日が今年の審査日でした。長かった梅雨が明け、暑さに体が慣れていなかったこともあり、吹き出る汗を拭いながらの審査となりました。毎日花のお世話をされている皆様は、私たち以上に日々ご苦労されているでしょうから、本当に頭の下がる思いがします。

異常気象といわれる事象が増えつつある時こそ、身近な緑や花は大切な存在です。花壇の一つ一つが環境保全に及ぼす効果は、公園に茂る何本もの樹木と比較すれば、小さなものかもしれませんが、しかし、花壇活動に自分の意志で関わることが大切で、そういった人が増えれば、身近な所にきれいな花壇が増え、これに啓発されて地域の環境保全に関心を示す人も増えるのではないかと考えています。そのためには花壇活動は楽しく、長続きさせないといけません。花壇づくりは「苦も無く、楽しく、美しく」を目指しましょう。

「苦も無く」は、いい土で、日当たりもよく、管理しやすい場所に花壇をつくるということです。「楽しく」は多くの方がワイワイ、ガヤガヤ、笑顔を絶やさずに活動することです。笑顔がポイントです。「美しく」は花壇の隅々まで目を行きわたらせ、咲き終わった花殻やポイ捨てごみがなく、花壇の周りに目障りなものがないことを意味します。

これらに心がければ来年は大賞が目指せます！

つららこまつ

イヒ ぐく ぐく

2019夏 花のコンクール大賞

